

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度 第1回 入間市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和元年11月20日(水) 午前10時30分 開会・午前11時30分 閉会
開 催 場 所	入間市リサイクルプラザ 2階研修室
議 長 氏 名	入間市廃棄物減量等推進審議会 会長 小林昌幸
出席委員(者)氏名	奥山重信 小野吉雄 小林昌幸 三枝孝子 篠塚玲子 多田ひとみ 手島吉紀 永井健一 沼井里恵 三木敏正 向野康宏 森谷秀一 山本有男
欠席委員(者)氏名	剣持和夫
説明者の職氏名	環境経済部参事兼総合クリーンセンター所長 守屋俊久 環境経済部副参事(清掃指導・ごみ減量推進担当) 兼宮寺清掃センター所長 水村章一 総合クリーンセンター(事務局) 主 幹 松落義夫 総合クリーンセンター(事務局) 主 幹 山川博志 総合クリーンセンター(事務局) 副主幹 平井素明
会 議 次 第 (公 開)	1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 会長あいさつ 市長あいさつ 4 諮問 「入間市一般廃棄物処理基本計画」の策定について 「入間市災害廃棄物処理計画」の策定について 5 議題 (1) 諮問事項に対する審議 (2) 平成30年度ごみ減量・資源化に関する行動結果報告 (3) 新最終処分場整備に関する経過報告 (4) その他 6 その他 7 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	資料 平成30年度ごみ減量・資源化に関する行動結果報告書
事務局職員職氏名	環境経済部部长 長谷川功 環境経済部次長 西澤章 環境経済部参事兼総合クリーンセンター所長 守屋俊久 環境経済部副参事(清掃指導・ごみ減量推進担当) 兼宮寺清掃センター所長 水村章一 総合クリーンセンター(事務局) 主幹 松落義夫 主幹 山川博志 副主幹 新郁夫 副主幹 平井素明
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○諮問

市長より会長に対し諮問書を手交

(1) 諮問事項

入間市一般廃棄物処理基本計画（案）の策定について

入間市災害廃棄物処理計画（案）の策定について

(2) 諮問の趣旨

別紙のとおり

○議題

(1) 諮問事項に対する審議

事務局より『諮問書』に基づき説明を行った。

(2) 平成30年度ごみ減量・資源化に関する行動結果報告

事務局より【資料】を用いて平成30年度におけるごみ減量・資源化に関する行動結果について説明を行った。

(3) 新最終処分場施設整備に関する経過報告

新最終処分場施設整備に関する経過について説明を行った。

(4) その他

事務局より次の2点について説明を行った。

- ・台風19号被害に伴う災害廃棄物の回収について
- ・台風19号被害に伴う東松山市からの支援要請に対する職員派遣について

○その他

今後の審議会スケジュールについて説明を行った。

※次回会議は令和2年1月中旬を予定。

以上

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
(水村副参事) (田中市長) 小林会長 (田中市長) 三木委員 (新任職員) (田中市長)	1 開 会 (配布資料の確認を含む。) 2 委嘱状交付 3 あいさつ 会長あいさつ 市長あいさつ 新規委嘱委員自己紹介 事務局新任職員自己紹介 4 諮問 市長から会長へ諮問書の手交 (各委員へ諮問書の写し配布)
(水村副参事)	それでは、これより会議に入らせていただきます。「入間市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第1項」の規定に基づき、会長が議長となります。
小林会長	本日の出席委員の人数は、13名です。よって、「入間市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第2項」の規定に基づき、委員の半数以上が出席しますので、会議は成立となります。 続きまして、本日の会議録の署名について、議長のほかに1名以上必要となりますので、名簿順で小野委員にお願いしたいと思います。異議ありませんか。
各委員 小林会長	「異議なし」の声 それでは、議事に入ります。次第の5にもありますように、本日の議題は3点となっております。1点目としましては『諮問事項に対する審議』、2点目は『平成30年度ごみ減量・資源化に関する行動結果報告』、3点目は『新最終処分場施設整備に関する経過報告』となっております。 はじめに議題(1)『諮問事項に対する審議』について、事務局から説明をお願いします。
(松落主幹) 小林会長	それでは、諮問書に基づき事務局より説明させていただきます。 ※以下の内容について要点説明を行う。 入間市一般廃棄物処理基本計画(案)の策定について 入間市災害廃棄物処理計画(案)の策定について 両計画につきましては、次回の審議会以降具体的な内容を協議していただく予定です。ご協力をお願いいたします。 事務局からの説明について、ご質疑等ありましたらお願いします。

発 言 者	発 言 内 容
各委員	(意見なし)
小林会長 (平井副主幹)	<p>続きまして、議題（２）『平成３０年度ごみ減量・資源化に関する行動結果報告』について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>それでは「資料 ごみ減量・資源化に関する行動結果報告書」に基づき事務局より説明させていただきます。</p> <p>※「資料」を使用し、個別施策の評価について要点説明を行う。</p>
小林会長 手島委員	<p>事務局からの説明について、ご質疑等ありましたらお願いします。</p> <p>『No. ２２ 焼却灰の資源化の推進』と『No. ２４ ごみの資源化の推進』について質問します。『No. ２２ 焼却灰の資源化の推進』につきましては、平成３０年度第１回審議会でも、予算の範囲内で対応し目標を達成できなかったとの回答がありましたが、目標を立てたが予算の関係で達成できなかった項目について「達成率９０％から１００％未満」との評価はおかしいのではないのでしょうか。焼却灰の資源化量１，２００ｔを達成できなかったのは、目標の設定に無理があったのか検証しなければいけないのではないのでしょうか。『No. ２４ ごみの資源化の推進』の混合カレットの資源化量・率につきましても、年７００ｔを目標として、２９年度で達成目前であったが３０年度は減少しています。原因は何でしょうか。</p>
(守屋所長)	<p>『No. ２２ 焼却灰の資源化の推進』につきましては、予算の問題として、処理費用つまり再資源化の費用がかかっておりまして、再資源化は予算の範囲内となっております。再資源化の現状は、ご指摘のとおりとなっておりますので、実績と内容について検証をいたします。『No. ２４ ごみの資源化の推進』の混合カレットの再資源化量・率の問題につきましては、再資源化できるカレットの収集量・再資源化可能な割合の問題もありますので、資料を確認したうえで、次回の審議会で回答いたします。</p>
小林会長	<p>No. ２４につきましては、次回の審議会で回答をお願いします。他にご質疑等ありましたらお願いします。</p>
各委員	(意見なし)
小林会長	<p>続きまして、議題（３）『新最終処分場施設整備に関する経過報告』について事務局から説明をお願いします。</p>
山川主幹	<p>それでは、議題（３）『新最終処分場施設整備に関する経過報告』について事務局より説明させていただきます。</p> <p>※新最終処分場施設整備に関する経過について説明を行う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小林会長 各委員	事務局からの説明について、ご質疑等ありましたらお願いします。 (意見なし)
小林会長 (守屋所長)	本審議会に、委員として金子地区区長会長の三木委員も出席されていますので、地元説明会における説明はどのくらいの時間をかけて行い、地元の反応はどうであったか、事務局と三木委員から伺いたい。
	金子地区の正・副区長を対象に説明会を開催いたしました。冊子と図面等を使い、入間市新最終処分場施設整備基本構想の内容を説明いたしました。処分場の4方向への拡張プランが本審議会で答申されましたので、プランが策定されたことについて、初めての地元説明として正・副区長に説明いたしました。質問につきましては、「なぜ金子地区なのか」といった質問が出ました。説明内容としましては、現最終処分場に搬入される灰の形状と埋立の様子など現在の状況や埋立の今後の推移といった内容を説明いたしました。質疑につきましては、長くて40分程度で、全体の時間としましては1時間30分弱でした。最終処分場は金子地区の中でも木蓮寺地区にありますので、今後は木蓮寺地区の県道青梅入間線から南の地域と隣接地域である南峯の桂地区の二地区に対して年明けに説明したいと考えており、該当地区の区長と調整しているところです。
三木委員	11月8日に市長・副市長・その他関係者が出席し、説明会が行われました。最終処分場の拡張計画が市にとって重要なものであることは認識していますが、金子地区にとっても重要な案件ですので、今後各地区の正・副区長を交えて協議していきたいと考えます。金子地区としても市に協力できることは協力しますが、市にも地区の要望を聴いていただきたいという姿勢で対応します。
小林会長	最終処分場は重要な施設ですが、所在する地区にとっては迷惑施設でもあります。今後も本審議会で慎重に審議し、より良い施設とするため委員の皆様ご意見もいただきたいと考えます。
各委員	他にご質疑等ありましたらお願いします。 (意見なし)
小林会長 (水村副参事)	続きまして、議題(4)『その他』について、何かありますか。 事務局から報告が2点ございます。1点目は台風19号の被害による災害廃棄物回収の要請が市民から18件あり、要請に基づき回収を行いました。主な廃棄物の内容としましては、流木・枝葉・土砂・日用雑貨・畳などでし

発 言 者	発 言 内 容
	<p>た。2点目は同様に台風19号の被害に伴い、東松山市から災害廃棄物の仮置き場における受け入れ体制の支援要請がありました。それに対しまして、10月と11月の3日間総合クリーンセンターの職員を合計6名派遣しました。この派遣は、埼玉県清掃行政研究協議会に加入する埼玉県と県内84の市町村及び一部事務組合が締結する災害廃棄物等の処理に関する相互支援協定に基づいて派遣したものです。今回は災害廃棄物の荷下ろし・分別・車両誘導の支援を行いました。</p>
小林会長	<p>ただ今の報告につきまして、ご質疑等ありましたらお願いします。</p>
手島委員	<p>今回の台風によって、市として災害廃棄物の処理にどれくらいの金額がかかったのか。また、災害廃棄物の発生量がどの位であったか認識しておくことが将来の災害発生時に必要だと考えますが、災害発生時のごみの発生量と処理に係る金額の予想について伺いたい。</p>
(守屋所長)	<p>現在、まだ回収の依頼がある状況ですので、正確な金額につきましては今後集計いたします。分量につきましては、現時点で約20m³となります。重量につきましては、種類別に分別できておりませんので変動があります。また、ごみの種類別に処理費用も変わりますので、その点からも処理費用につきましては変動があります。</p>
手島委員	<p>今後も起こり得る災害に対し、予算をどれくらい確保したら良いか、災害廃棄物の仮置き場をどの程度確保したら良いか、あらかじめ考えておくことが必要になると考えますがいかがでしょうか。</p>
(守屋所長)	<p>ご指摘の点につきましては、市でも重要な事項であると認識しているところでございます。今回の諮問で、本審議会において、災害の想定・対応策について市民意識の啓発・広報等も含めまして審議いただきたいと考えております。</p>
小林会長	<p>事務局からの説明のとおり、今後の審議会の内容で、災害廃棄物処理計画につきましても市長より諮問を受けています。災害廃棄物の処理についても議案として出てくると考えますので、ご意見を伺えればと考えます。</p>
各委員	<p>他にご質疑等ありましたらお願いします。</p>
小林会長	<p>(意見なし)</p>
小林会長	<p>特に無いようでしたら、以上で全審議事項について終了とし、議長の座を降ろさせていただきます。</p>
(水村副参事)	<p>続きまして、次第6『その他』につきまして説明させていただきます。次</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>各委員 (水村副参事)</p>	<p>回の審議会につきましては、諮問事項に対する審議を引き続きお願いいたします。日程につきましては、1月中旬を予定しております。詳細につきましては、後日ご案内をお送りいたします。委員の皆様からご質疑等ございますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>これもちまして、本日の会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 年 月 日

議 長 の 署 名 _____

議長が指名した者の署名 _____

